

【質疑要旨】		報告者	政策企画課	新井
名 称	「第6次基本構想・第2期基本計画(案)」地域説明会(水谷公民館)			
日 時	令和7年9月26日(金) 午後7時00分～午後8時57分			
場 所	水谷公民館 多目的ホール			
出席者	説明担当員 質疑対応員	市長、副市長、教育長、各部長		
	事務局	政策企画課		

【意見・質疑応答】

■質問者

①東武東上線西側地域の公共交通については、どう考えるか。

②すずかけ通りについて、ベビーカーや車いすの方がいるとどうしても車道に出る必要があるが交通量が多く危険な状況となっている。歩道の拡張や一方通行にするなどの対策は考えてもらえないか。

➤回答（市長）

①デマンドタクシー、市内循環バスについては、現時点で拡張していくという考えには至っていないが、公共交通については地域の力を借りて福祉的な事業として高齢者の方々の移動を確保したいと考えている。

地域に車を手配し、地域のドライバーを募って運用する案と、市内のデイサービス事業者の送迎車の空き時間を活用するような案を考えており、今後進めていきたいと考えている。

②道路の拡幅については、沿道の地権者の方々の理解を得ながら進めることが重要と考えている。また、県道も同様で、地権者の方への説明や調整は市が行っているため、しっかりと理解を得ていきたい。

■質問者

ふるさと納税を伸ばしていくためには具体的にどのような策を考えているか。

➤回答（市長）

本市のふるさと納税の返礼品には魅力的な商品があり、例えばメダカ、ヘッドホンといったものがある。また、モノだけではなく、コト消費や体験などを新たな返礼品として開発に取り組んでいきたいと考えている。

➤回答（政策財務部長）

魅力のあるものを返礼品として増やしていくとともに、本市の返礼品が多くの方々の目に届くようにインターネットのサイトを増やすことで、本市への寄附を増やしていきたいと考えている。

■質問者

今、時流はコト消費だと思っている。コト消費をきっかけとして富士見市に来てもらい、定住してもらおう。富士見市を電車で素通りさせないように、富士見市の魅力を上げる、そういうことを考えてもらいたい。

➤回答（市長）

おっしゃるとおり、富士見市の魅力を発信していくために市としてもシティプロモーションの取組をしっかりと進めていきたいと考えている。

■質問者

①富士見橋通り線について、現在は工事がストップしている。原因は産業廃棄物だと思うが、それらは既に排出していると思う。工事が再開しない原因について、教えていただきたい。

②敬老事業について、節目の 77 歳、88 歳、99 歳の年齢についてはお祝い品があるが、聞くところによると来年 77 歳の人にはそれらは難しいと聞いている。お祝い品の金額を工夫するなどして対応していくような考えはないか。

➤回答（市長）

①ご指摘の箇所の産業廃棄物については全て除去しており、工事を進めていきたいと考えているが、沿道の土地をお持ちの方との再着工の調整が整わず、現在まできている。また、この地域の協議会において土地利用に関する検討を進めており、土地の造成工事と同時に道路工事を進めた方が効率的と考え、そういった検討をしているところとなっている。状況を見つつ検討の進捗に合わせて道路整備を再開していきたいと考えている。

②敬老会の補助金については、お祝いの対象の年齢を上げていかざるを得ないと考えている。一方で高齢者福祉や高齢者の方々の健康を守っていくためには新たな取組に財源を使っていかなければならないと考えているため、来年度の予算に向けて調整を進めているが、決まった内容については町会の方々にはなるべく早くお示しさせていただきたい。

■質問者

電柱についてお聞きしたい。水谷地域の開発では電柱を立てて配電しているが、電柱を立てることは景観が良くないだけでなく、災害時の観点からも問題があると考え。地中化についての方向性はないのか伺いたい。

➤回答（市長）

開発がある場合には水道や下水、電気の取り方などについて開発業者と市で協議を行っている。水子地域では大規模な開発となるため開発協議、指導の中で決めているところである。

無電柱化などについても市内 3 駅が目抜き通りについては電柱を立てない方針とさせていただいている。

■質問者

第 1 期基本計画の評価、反省が資料からは読み解けない。第 2 期基本計画に向けてどのように反映してきたのか。具体的に何を、どうするのかということが見えてこない。第 1 期基本計画の目標に対する進捗など、評価を明確にして、良かったものは続けて、悪かったものは修正するなどしないといけないのではないか。

➤回答（市長）

本日お示しさせていただいた資料はダイジェスト版であり、市ホームページなどでパブリックコメント案として全ての分野を網羅したものを公表させていただいているため、ご理解いただきたい。

➤回答（政策財務部長）

指標等でしっかりわかりやすく、といった点については計画の中では数値目標、K P I、K S F といった評価指標を設定してそれぞれ第 1 期基本計画の進捗についても管理をしており、昨年度、第 1 期基本計画の評価と検証を行ったところとなっている。それを踏まえて第 2 期基本計画の策定について進めさせていただいている。

■質問者

分野 2 4 住環境について、定住意識を 8 3 . 1 % に伸ばしたいと書いてある。次に分野 2 5

商工の指標である市内店舗の利用率については56.2%となっている。これはあまりにも低いと思う。市内産業の活性化のためには市内店舗の利用率が上がるような取組を進めてもらいたいと思う。

➤回答（市長）

本市の特徴として昼夜間人口比率が低いことが挙げられる。約25%の方が昼間は市外に行かれています。逆に言うと、昼間働く場所が少ないとも言える。このため、買い物は職場の近くで、ということになっている可能性もある。市内業者の皆様の活性化のために、市としても専門のコンサルタントの方の協力などを得ながら経営相談や創業支援などの事業者への支援の取組を進めていくことを考えている。

■質問者

①分野3 学校教育について、昨今は学校の先生による不祥事などの問題も多いため、しっかり対応してもらいたい。

②分野30のデジタルトランスフォーメーションについて、具体的にどのようなものがあるのか教えていただきたい。

➤回答（市長）

①学校教育に対して、ご指摘いただいた内容については今後もしっかりと対応をさせていただきます。

②デジタルトランスフォーメーションについては、たとえば保育所のマッチングについて、入所申請を様々な項目で点数をつけて判断して従来1週間程度かかっていたところが、新たなシステムにより大幅な時間短縮を図ることができた。これにより、従事していた職員が別の業務に携わることができるようになるなどの効率化を進めたり、市民の皆様に向き合うような業務に従事したりすることができている。

➤回答（政策財務部長）

②市役所での申請などもわざわざ窓口まで行かなくてもご自宅でスマートフォンから申請することなどができれば利便性の向上に繋がり、そういったことを今後進めていきたい。また、これまでの取組としては公民館の予約を行うシステムの導入などについても進めてきている。

以 上